

LEON- TODO

N-roll



1955

JANUARO

Antar

Ni B

S-ro J.

チエの

Esper

国際児

小中学

「世界の

Kiel V

Renvo

編集引

連盟の

北海道工

地方

Ni vo

あ と

~ CIKARUKARUPE ~

La bildo sur kovrilo estas de
vesto de "Hidaka-Ainu" kin
loĝas en Hokkaido. La vestoj
estas nomataj "Ĉikarukarupé"
estas tre belaj. Bedaŭrinde,
mi (presisto) ne povis presi an-
koran du kolorojn sur la bil-
don pro la manko de koloroj kaj
energio. (4)

El "Kuraši-no-Teĉoo"
(forĝeis la numeron)

— ENHAVO —

Antaŭparolo de la Novjaro	P.
H. ARAWA	2
Ni Bonvenigis S-ro J. Berry	
I. YAMAGA	3
S-ro J. Berry を迎えて	江口 音 吉
チエコのリダ機から	早 川 昇
Esperanto 通信に教わる	アリマヨシノブ
国際児童画展について	新 田 為 男
川中学校的エスペラント教材	木 内 一 夫
「世界の子ども」運動について	星 田 淳
Kiel Vosto de Simio estas Mallonga?	
N. Hayakawa	13
Revuo Orienta による北海道エス界	
坂 下 清 一	14
編集引継がせのことは	山本昭二郎
連盟の機関誌と入会についてお願い	22
北海道エスペラント連盟会員名簿 (1955. 1. 31 現在)	23
地方会役員住所変更	24
Ni volas Korespondi	25
あ と が き	26

ANTAŬPAROLO DE LA NOVJARO

H. Aizaŭa

Feliĉan Novjaron!

Tre Estimataj Gesamideanoj en la norda insulego.

Mi elkore salutas al ĉiuj gesamideanoj en Hokkaido, kaj mi estas ĉiam dankema pro viaj ĉiamaj klopodoj por Esperanto.

Je la komenco de la nova jaro ni komitatanoj de H.E.L. decidis, ke nia esperanto-morado en Hokkaido plivigliĝu kaj faru energian laboradon por nia sankta afero, laŭ la decido de lasta kongreso en Sapporo.

La unua grava afero estu la eldono de la "LEONTODO" kiu fariĝis la organa gazeto de H.E.L.

Ĉar la gazeto "LEONTODO" estis tre bele kaj tre bone eldonita ĝis nun per la manoj de la otaruanoj, kun iliaj grandaj klopodoj kaj sindonemaj laboradoj, kaj ĝi jam akiris sufiĉan aplaŭdon tra tuta Japanujo; la respondeco de ni komitatanoj estas tre granda kaj ni tre timas, ke la projekto iros bone aŭ ne.

Mi petas al vi samideanoj plian subtenadon kaj helpadon ĉiaman, kaj daŭrigu la floradon de Leontodo ja eterne, kaj nian verdan moradon sukcesigu.

Las
unu n
tiunta
reiros n
po kaj
Post
ideano
reni l
ero. Sea
Li k
egito la
ricevi
inda ka
Li v
ejon, t
estis l
samide
poste l
"tatami
kuseno
kukon"
donaco
Sun
"getao",
n kun ru
Ni en
granda
kaj alia
Cetere
Jam

Ni Bonvenigis S-ro J. Berry.

la 10-an de Okt. 1954

Otaru I. Yamaga

Lastan dimanĉon respere mi ricevis telefonon de unu nekonata fremdlandano tute neatendite. Li venis tiuntagon posttagmeze en nian havenon por ŝipo kaj baldaŭ reiros morgaŭ matene. Li volis vidi min en tiu mallonga tempo kaj atendis ĉe Hokkai-hotelo.

Post ne longe mi vizitis lin kun akompano de nia samideano Eguti kaj tie unuan fojon povis saluti kaj kompreni lian nomon: s-ro J. Berry, 34-jaraĝa radio-inĝeniero. Seattle U. S. A.

Li konis mian adreson en la Jarlibro de UEA kiel delegito kaj telefonis min, tamen por mi estis la unua fojo ricevi tian neatenditan anoncon. Cetero estis tute mirinda kaj ĝoja afero por ni esperantistoj.

Li volis vidi en la urbo bibliotekon, lernejon, ban-ejon, trinkejon kaj japanan hejmon. Do kvankam jam estis la 8-a, ni iris unue al la urba biblioteko kun samideano Hayakawa, kaj ankaŭ al publika banejo, poste li vizitis mian domon, tie li povis vidi japanan "tatami" - ĉambron sidigante (kun kurba kururo) sur kuseno "zabuton". Li trinkis japanan teon kaj manĝis kukon "yokan" kaj ankaŭ "senbei" sur la tablo. Kiel donaco mi donis al unu rondan bonbonujon de lakaĵo.

Sur la strato li estis tirita al belaj japanaj ligŝuoj "getao", kaj mi aĉetis kaj donis al li tiun virinan "getao" kun ruĝa ŝnuro por lia edzino. Li ja estis patro de du filoj.

Ni eniris en japanan trinkejon, kie oni sidis en malgranda ĉambro kaj trinkis japanan alkoholaĵon "sake" kaj aliajn, kiuj plaĉis al li aŭ ne, mine povas diri. Cetero li dankis tute bongusta.

Jam venis la tempo reiri al la ŝipo, kaj oni veturis

la havenon, kie kuŝas granda usona ŝarĝŝipo "Weigel".
Li kondukis nin en la ŝipon kaj montris sian ĉambron
kaj aliajn.

Prenante la manojn unu la alian, ni adiaŭis kaj
esperis venontan ŝancon revidi. S-ro Hayakawa bone
deziris lian bonan ŝancon kaj bonan rojagon.

P. S. Tian malofte bonan ŝancon mi ne povis anonci al
multaj gesamideanoj en nia urbo, kial la tago estis dim-
anĉo kaj oficejo kaj lernejo fermitaj kaj lia anonco
tute neatendita, kaj plie la tempo tro mallonga.

Mi deziris ke li bonvole antaŭskribu sian viziton.
Ĉiam ni nepre pli multope lin bonvenigos kaj kontakto.
Fine ankoraŭfoje koran dankon por lia vizito.

La Adreso :

S-ro Jay Berry

3231 West 62nd st.

Seattle 7, Washington,

Usono

S-ro J. Berry を迎えて

小橋 江口 音吉

10月10日の日暮れ時、D-ro山崎か
ら北海ホテルに外国人のエスペランチスト
が来ているから会いに行こうと電話があつ
た。そしてその人は何処の国であるかまた
名は何というのかもわからないとのこと。
自分としては外国の同志に会うのは全く久
し振りである。戦争の空白があつたりまた

中央でもないこの土地にあつてはそういう
機会にめぐまれず、今日こそ好機と喜んだ
のである。ところがその夜ぐ時から眠意講
があり自分としては、どうしても出なけれ
ばならぬ事情があつて、この同志に会いに
ゆけない。誠に残念ながら一応断つたので
ある。けれど時計をみるとも時である。外

国の同志と
を prakt
だく時す
でホテル
上にコー
会うこと
の初対面
cigarete
とればい
fumasと
われたか
みて Del
わかつた
いるアメ
いう。仕事
ingenie
ない。辞書
と彼氏は両
か、話のわ
れかと覺
向きにく
そして対
かる。さす

リタ嬢は
に有る翼
もう、足
嬢からの手
者の皆様に
「只今は、お
な絵葉書を

国の同志と会わねば話にならぬ、*mia lingvo* を *praktizi* する唯一の機会である。そう
だ7時すぎまで若干話せると大急ぎで自転車
でホテルへゆく。そして D-ro 山賀と共に階
上にコーヒーをすゝりつゝ待つてゐる同志と
会うことになつた。山賀氏につづいて型通り
の初対面の挨拶をする。彼は *Bonvole!* と
cigaredo を差出した。Danke と一本
とればいいのにタバコをすねぬ自分は *Mine
fumas* と断つた。etikedo を知らぬと思
われたかも知れない。聞けば UEA の年鑑を
みて Delegito である D-ro 山賀の住所が
わかつたのだという。小橋君に鍵を下ろして
いるアメリカの貨物船の *maristo* であるとい
ふ。仕事は何ですと問うと *Uradio* の
Ingeniero という。Uradio とはわから
ない。辞書をめくつてもみつからない。すると
彼は両手を耳にあてた。ハハハ Radio
か、話のわからぬ時の手真似さるまねとはこ
れかと覺える。発音が何うのくせもあり一寸
聞きにくいと思つたが慣れるとよくわかる。
そして相手はこちらの云うことはすつかりわ
かる。さすが *Esperanto* である。

いくつかと聞えは *tri kaj kvar* という成
程 4 才か、自分なら *tridekkvar* と云
ってしまうのであろうが成程前の方が楽で
ある。自分は時間が少ない、D-ro 山賀を
差おいて唾をとばして *babili* したわけ
である。さて7時にもなつたので自分は
Bonan vojaĝon, ĝis la revido!
とホテルを去ることにした。恰度入道いに
s-ro 早川がくる。助け舟である。話題も
新たになり、アメリカの同志も退屈せぬで
あろう。その夜は三人で街を *promenadi*
して芝川橋の夜的情緒を満喫したことであ
らう。自分は昭和8年小橋を訪ねたヨセフ
マヨール氏、9年に来たハンガリヤのフェ
ドルチャック氏、それから昭和11年8月
24回日本大会が札幌で開かれた時に会つ
た中国の同志蔡利斯氏以来これで四人目の
外国の *Esperantisto* であつた。文通
や交換もいろいろ、同志の訪問することは最
上の刺激である。もしこのことが一日早く
わかつて来て小橋の同志皆集つて来て *interparolado* をしたなら、どんなに愉快
であつたろうと思う。

チェコのリタ嬢から

早 川 昇

リタ嬢は、チェコスロバキアのタボール市
に有る農業研究所にお勤めの方で、私とは
もう、足かけ四丘の手紙友達である。こゝに
嬢からの手紙の一本を取り掲げて訳出し、読
者の皆様に微笑んで頂くことにする。

「只今は、お手紙と、それから驚くほど綺麗
な絵葉書を何枚も、有がとう存じます。

今日の手紙で私のお報せしようと思ひます
のは、貴方の御希望に従つて、チェコの私
達の贈りものの習慣です。考えて見ますと、
人様に品物を差し上げるということには、
主に宗教的だと思われる基礎が有るようで
御座いますね。クリスマスに、砂糖菓子や
林檎や胡桃(クルミ)や小蠟燭で飾り立て

たクリスマス・ツリーの串を立立て、
其の下に、家族同志や友達同志で取り交わ
した贈り物を置きます習慣は、もう多分、
松の木のお国＝日本でも行われて居る事で
しょう。小さな子供さん達にとつては、
こんな楽しい時は、外にないのを御座いま
すよ。

クリスマス前にも私達は、12月の6日
に、ニコラス司教様のお名前を祝福する行
事を致します。其の時、ニコラス司教様は、
天使様や悪魔奴と一緒においで遊ばしまし
て、御自身、勇気のある小さな子供達には、
持つて来られた贈り物——其れは主に、砂
糖菓子と胡桃ですが——其れを下さるの
です。ところが、臆病な子供達だと申します
と、耳れです。此の人達は悪魔から悪魔に
対する罰として叩かれねばならないからで
す。さて、夕方になりますと、聖ニコラス
様は、大衆の「踊りの夕べ」へ、出かけて
行かれます。そして、其処に集つて居る皆
へ、ユーモアたっぷりな贈り物を下さるの
です。

次に、お話は、復活祭へ参ります。私の
此の手紙には、三枚の写真を同封致しまし
たが、先づ其の一枚(A)を御覧頂きたい
と思います。此の写真には、7、8才の
トテモ綺麗な礼装をしたお嬢さんが、冠れ
亦礼装で長靴をはいている二人の青年に取
つつかまって、肩じらいながら細鞭で打た
れて居る様子が写つて居ましょう。復活祭
の月曜日には、青年達は朝の内に、娘さん
の居る家へ出かけて行くのです。そして娘
さんを掴まえると、此のお祭り用に作られ
た鞍で山を登り、山頂に叩きようをし、其の上で娘
さんに、自分達の持つて来た色絵付きの卵
を買わせるのです。此の場合、娘さんが若

し其の中の誰かに思われてでも居ますと、
其の青年から、時段に美しい卵が贈られる
という事に成ります。此の日には、小さな
子供達も伯母さん達の所へ出かけますと、や
はり此の絵卵を貰うのです。此の絵卵には、
新しい流行が現れて来て居まして、チョコ
レートのお友んかを、兎が持つて来て呉れ
た物だと云つて子供達に与える風が行われ
て居ます。此の兎と云うのは、^{いふこ}雛鶏、山羊
の子、鶯鳥の子、家鴨の子などと同様、復
活祭の季のシンボルなんです。

二枚目の写真(B)では、貴方は何を御覧に
成るでしょう。こゝには一人のお嬢さんが、
描画の花瓶の載つて居る板の上に、十もの絵
卵を転がして、微笑んで居ましょう。其の
絵卵の他は、御注意なさいましたか。草花
の絵があるかと思つと、是れはしたり、タ
キシードを着たワンワンの爺も御座居いま
したね。

三枚目の写真(C)は、如何にもマンチ
ヤそうなお嬢さんが二人、抱き合うように
坐つて、お互いに貰つたり貰つたりした絵
卵の見せくらをして居るところなんです。
復活祭での贈りものに就いては、先づ此の
位にして置きましょう。

私達は、此の外に、誕生日だとか名付け
祝の時だとかに、友人や家族の人に贈り物
をしますし、恋人の誕生日には勿論の事致
します。

五月には、其のオニかオ三の日曜日に「
母の日」というのが有りまして、其の日
にはお母様へ、チョツとしたものをお贈りし
ます。

是れは都会でも、田舎でも、行きわたつ
て行われて居る習慣です。その場合、何を
差し上げるかは、勿論子供達の「懐具合」

が決めること

以上で、大
国での贈り物

私は今、
つた『日本

いま私は、
と文通してい
か ingenie
いての専門的
通信をはじめ
と、教えられ
りありません
トビを一應習
せて世界各国
と絵ハガキや
国の人の未知
ができる Esp
でした。楽し
する。文通を
ばならない。
達するといつ
anto の習
くれました。
angj と文通
人とは気持の
ることかわか
すでに文通し
も知れせんか

が決めることなんです。

以上で、大略では有りましたが、私共の
国での贈りものゝお話を終らせて頂きます。

私は今、貴方が何時ぞや私にお書き下さ
った『日本人の書くことの祕密』（書体の

説明）を思い浮べて居ます。とても其れは、
私には判りにくいものでしたけれども、そ
っくり覚えさせて頂きました。厚く厚く御
私を申し上げます」

（完）

Esperanto 通信に教わる

サツポロ

アリマ・ヨシハル

いま私は12-3カ国の *gesamideanoj*
と文通していますが、その大部分が建築家
が *ingeniero* で文通の内容も建築につ
いての専門的なものが多くて、*Esperanto*
通信をはじめたころのようなおもしろいこ
と、教えられるような興味ある話題はあま
りありませんが、*Esperanto* というコ
トを一度習い覚え、その実用性を発揮さ
せて世界各国24ヶ国の *gesamideanoj*
と絵ハガキや短文の手紙で文通を始め、外
国の人の未知の習慣や気持などを知ること
ができる *Esperanto* 通信は楽しいもの
でした。楽しいためにだんだん広く文通を
する。文通をするには嫌でも勉強しなけれ
ばならない。勉強すれば *Esperanto* が上
達するといった具合で文通は私の *Esperanto*
の習得に非常に大きな力を与えて
くれました。こうして外国の *gesamide-
anoj* と文通していると、私もニッポン
人とは気持の表現法や習慣などがちがって
ることがわかって色々と教えられました。
すでに文通している人々には興味がないか
も知れませんが、初めての人にはおもしろ

いものもあるかと思ひまして、*Esperanto*
通信が教えてくれたことを拾いあげて書い
てみましょう。

昭和6~7年、満州争変のころラトビヤ
のある夫人から来た *letero* には「アジ
アについては殆んど知証がありません。何
か遠い遠いおそろしい所のような気がしま
すワ」と書き出して、ニッポンについて詳
しく知りたいと書いてありました。リトワ
ニヤからの絵ハガキには煙突の長い小型の
ちやうど明治時代のわが国の機関車のような
のが描かれてあつて、その裏面に「……
満州には汽車や電車がありますか」と書いて
ありました。そこで、さつそく超特急ア
ジア号のアロマイドに「この汽車は満鉄で
つくられ、大連からハルビンまで——筆者
註、やや東京サツポロ間の距離——を12
時間余りで走っている急行列車です。また
大連にはトビラと上り段が自動的に開閉す
る近代的な電車が走っています」と返事し
てやったことがあります。

ドイツの *xinjoro* から「満州はニッポ
ンのものではないか、それなのになぜ戦う

の⁷という手紙が来たり、イギリスの *junulo* からは「君たちはなぜ弱いシナをい
じめるのだ。即刻に戦いをやめよ⁷と叱ら
れ、長々と書きなぐったキリスト教のお説
教を読まされたことなどもあります。その
ころの *Eŭropanoj* は *Azio* や *ニッ
ポン* を知らない人が多かったようです。

外国人と文通して困るのは、かれら
の *adreso* の読み方が判らないこと、*nomo*
を見ただけでは *viro* だか *virino* だか
区別がつかないことです。もつとも *nomo*
の男女別は敬称の *s-ro*, *s-ino*, *f-ino*
を見れば区別がつかますが、その発音と
adreso の読み方が判らないのは未知の
漢字の発音がわからないのと同じで不便な
ものです。スペインの *fraŭlino* と文
通しているときでしたが、どう間違つたの
か *s-ro* として通信していたのです。と
ころから度目かの返事で「あなたは私が少
女だということを知らないのですか。女性
に *s-ro* なんて失礼です。」とおこごとを
食ったことがあります。ニッポン語の *lete
ro* なら「……」ですよ⁷とか「……」で
すわ⁷と女用コトバで書いて名前が読めな
くたって女の人の *letero* だつてこと
はハッキリするのですが、*Esperanto* 文
は女用男用のコトバに区別されていないの
で手紙文を見ただけでは男女別がハッキリ
しないため *samideanino* だとは気
付かず文通していたのでしょう。自分の
名刺や通信のときの名前に敬称をつけるの
は初めは何か変でしたが、慣れれば便利
だと思います。

欧米人の手紙でまごついたのは文字に独
特な形があつて読みにくいことでした。
ドイツ系といいますかむしろドイツに属し

ていた土地の人からの文字にはドイツ文字
式の形で *da*⁷ を *oloi*⁷ と書いてあ
つて、これを初めて見たときは *oloi*⁷
と読み、こんなコトバがあつたらうかと辞
典を引いてみたものでした。*Estas*⁷
の *e* をはじめ *A* と誤りましたが、*vorto*
の中間に大文字が入るのはおかしいと考へ
*estas*⁷ が *lestas*⁷ であることに
気付いたこともあります。*d, f, k, p,*
*n, z*⁷ は *d, f, k, p, n, z*⁷ と習
つた私どもには *d, f, k, p, n,*
*z*⁷ のように書いて来る手紙の文字がめず
らしいものでした。ロシア人は数字の4を
*4*⁷ のように書いて横線は絶対に縦線よ
り右へは出しません。 *Esperantistoj*
の中にも *4*⁷ とか *4*⁷ のように書く
者が多く、*1*⁷ を *1*⁷ と書いた手紙をう
けたことはよくあります。

欧米人には、心に秘密がなく、博愛衆に
及ぼすといった風の者が少なくないようです。
文通をはじめて2度ほど *letero* を往復
すると、「私はいま一人の恋人を持っている」とか
「3日前失業して困っている。もし近々結婚しなければなら
ない」とか家庭内のことをあからさまに言つ
てよこしたり、手紙の結びのコトバに「ア
ナタの *fratino* によるしく⁷」とか「心
から *via amikino* によるしく⁷」と
書いて来ることはめずらしくありません。
そしてこれが外国人からの *leteroj* だか
らそれほど変には感じないのですが、ニッ
ポン人からであつたら、何んだ直接関係
もないおれの妹やブミーによるしくなんて
嫌らしいおせじを書きやがつてとの感じを
抱きたくなるかも知れません。外人と文通
してほのほのとした暖かみを感じるの
は *letero* の最後のコトバです。結びの

コトバに
が使われ
「あなた
誰々より
? 敬白
を結んだ
ッポン語
のニッポ
いるよう
和9年の
から「T
れた *lete*
のでした
たからネ
く自分を
してひとり
さきの敬
以上つし
は「まだき

由に工
主権の由
童画、絵
高橋名氏
新田所有
その他翻
小学生
高校生や
てみる者
を改めて

コトバには普通、Via.... Tute via...
が使われますが、もしニッポン語の手紙に
「あなたの誰々より」とか「全くアナタの
誰々より」と書いたとしたらどうでしょう
？ 敬白、敬具、不一というシナ語で手紙
を結んだり、さようなら、かしこというニ
ッポン古語で終らせる習慣になつてゐる今
のニッポン人には、恋人からの手紙を見て
いるような感じがするかも知れません。距
和9年の春、ブルゼンチンの *fratellino*
から「Tute sindone via」 と結ば
れた *letero* をもらつたときはうれしいも
のでした。何しろそのころはまだ独身でし
たからネ。初心者の私はそのコトバを「全
く自分を捧げたあなたの...より」と直訳
してひとりでうれしがつていたものです。
さきの敬白、敬具はニッポン語に直すと「
以上つつしんで申し上げます」となり、不
一は「まだ言いつくされていませんね」とい

う意味になつて親しみのあるていねいな結
びのコトバになるのですが、現代人の使う
コトバとしてはもう古くさい感じがします
し、さようならは「さようならば、おいと
まする」という武士コトバの「それでは」
「では」の意味の「さようならば」の変化
であり、しかしこれは「恐れながら申し上げ
ます」という意味の「畏し」というコトバ
から変化したもので、よく使われる可祝は
当字でまちがいです。「さようなら」「か
しこ」はニッポンの古語ですが、敬具、不
一のシナ語よりはまたずっと親しみがありま
す。だがもしも *Esperanto* が使つて
いるような結びコトバをニッポン文でも使
うようにしたらもつと親しみある *letero*
が出来るかも知れません。

では結むのコトバになりましたから、こ
の語も結びにします。

国際児童画展について

由にエスペラント会では、7月23日勤労感謝の日に、由に小学校で町教育委員会
主催の由に町内小中高校児童生徒及一般の書、画、写真、手工作品展示会に、国際児
童画、絵葉書、観光案内書、書籍等の展示会を開催した。小碓エス協会の山賀、早川、
高橋各氏の御協力を得て、貴重な外国の児童画、絵葉書、書籍をお借りして、それに
新田所有のものを加え出品数は児童画8ヶ国から56枚、絵葉書25ヶ国から150枚、
その他観光案内書、書籍多数を教室一杯に展示した。

小学生の観覧者は割合に少なかったが、中学生高校生は特に絵葉書に興味を持ち、
高校生や学校職員の中には、鍵、独習書、アンデルセン童話のエス訳などを手にとつ
てみる者も多数あり、又初講を受けただけでエスペラントから遠ざかつていた人の中
で改めて勉強しようという者も出来たり、効果的であつた。

(新 田)

小中学校の 에스ペラント 教材

サッポロ 木 内 一 夫

「教育出版」という教科書会社から発行されている小中学校の国語教科書「小学国語」と、中学校の国語教科書「中学国語」には、いずれもエスペラントに関する教材がとり上げられている。すなわち、「小学国語」六年用の下巻に、説明する文の一例として、百科事典から引いた「エスペラント」と「ザメンホフ」の説明文があり、「中学国語」二年用の下巻には、学会会員である伊東三郎氏の「エスペラントの父ザメンホフ」と題する伝記が十数ページにわたってのせられている。教科書のよみあしについては良くわからないけれども、このように系統的にエスペラントを取り上げていることだけから考えても、進歩的な良い教科書であるといつてよいであろう。

これらの教科書は北海道では採択が多く、ことに「小学国語」は全道の九割以上の小学校で使用されているとのことである。これは、北海道の教育にとつて喜ばしいことである。けれども、せつかくのこの教材が、どのように取扱われているかを考えると少し心配になる。小学校では単なる説明文の一例として、また中学校では伝記文の一例として、極めてあつさり読み過ごされているのではあるまいか。もしそうであるとするともことに惜しいことである。教科書の文章は非常に簡潔に表現されているけれども、そのことばの陰にある深い意味を理解しなければほんとうにその文を読みとつたとはいえない。この深い読みに導くことこそが先生方の任務であろう。エスペラントの教材を取扱う時、それを指導される先生方のエスペラントに対する素養の程度が、子供たちの学習効果の上に明瞭に現れてくるに違いない。つぎに先生方が研究しておかなければならないと思われる点を教科書の文章について考えてみよう。

「小学国語」の「ザメンホフ」の項に、「ことばの不通から生ずる諸民族間の誤解をなくし、人類全体の幸福を増進しようとして国際語エスペラントを創案して提唱し、その普及に努めた」とあるが、これだけではザメンホフがああ熱烈な人類愛と平和に対する意願を持つに至つた動機も、血のにじむような創案や普及への努力も理解できない。また、「ザメンホフ」の項には「国際語」とあり、「エスペラント」の項には「世界語」とあるが、このことばの違いも軽く見過ごしてはならないものである。さらに、「エスペラント」の項にある「文法が簡単で、除外例がなく、学習が容易な点にある。」に至つては、一通りエスペラント文法に通じていなくてはどうにもならない。

しかし幸いにも、「中学国語」のザメンホフの伝記はなかなかよく書かれていて、エスペラントとザメンホフについて相当に深い理解を与えてくれる。小学校の先生方にはぜひ一読していただきたいものである。それでも文法の特徴については、ザメンホフが中学五年（十六才）の時に、英語の文法の簡単なことからヒントを得て、ついに「二、三ページでじゅぶんな最小の文法にたどりつきました。」とあり、また、「単語というものはこの『

スカヤ¹（ロシア）
とに気がついて
ては少しも触れ
校の先生も全く
わけである。

民主主義と世
に關する教材が
ストにはすぐ理
の教育の精神に
の進展に協力す
て、小中学校の
ろうか。

昨年札幌で開
ども「運動につ
「世界の子ど
「世界の子ど

「世

「世界の子ども
おとなから
書等の新
がおこ
かわ
に

一編集の仕事は
目の前の大き

スカヤ¹（ロシア語の）のような語尾をうまく使えば一つから他の単語を作り出せる。」ことに気がついて、大入道のような単語群を征服したとあるだけで、その具体的内容については少しも触れていない。従つてエスペラントそのものについては、小学校の先生も中学校の先生も全くABCから学んでおかなければ、子どもたちの質問にも答えるすべがないわけである。

民主主義と世界平和とを主張している日本の教育にとつて、これらエスペラントに関する教材がどんなに大きな意味をもっているかということは、われわれエスペランチストにはすぐ理解できることである。国際語エスペラントの精神は、そのまゝ新しい日本の教育の精神にも通じているのである。われわれエスペランチストは、新しい日本の教育の進展に協力すべき使命をになつていゝといつてよいのではあるまいか。その第一歩として、小中学校の先生方に大いにわれわれを利用していただくよう働きかけてはいかうかである。

「世界の子ども」運動について

支 那 湖 星 田 淳

昨年札幌で開催した第18回北海道エスペラント大会の席上で私が提案した「世界の子ども」運動について次に紹介いたします。

「世界の子ども」の会¹は東京都千代田区4番町4 平凡社内 にあります。

「世界の子ども」の仕事の進みとひろがる反きようへの態勢を次にのべてみます。

「世界の子ども」の仕事の進み

ひろがる反きようとその態勢

「世界の子ども」の呼びかけは国の内外からも、少年少女からも、おとなからも、教育や文化運動関係の人々からも、新聞雑誌図書等の執筆編集出版関係の人々からも、大きな共鳴や反きようがおこり、いろんな形の協力や要望の申出がさつ到しています。かわいた枯野に火がついたようなありさまです。みんなの一度にもえあがる情熱や力に道をつけ有効な形を与え果を結成しようしなければなりません。正直なところみんなのいろんな急な熱望にまごつく奥状でした。前号でもおちだしたように仕事の分化と組織化を進めましょう。

——編集の仕事は資料集めに勢力を集中——

目の前の大きな具体的仕事である「世界の子ども」の綴方風土記¹の編集の仕事は編集部

をしつかり固めて専向にその仕事を怠りて進めます。

各地の協力者(団体及び個人)には国際文通により各国の子どもの作文を集めていただきます。

文通以外により資料を集めることのできる人びと、例えば各国を旅行するとが身近かに外国のともたち状いるとかの人々の御協力も特にお願ひします。

有益な資料のある方、有力な通信あいて通信能力のある方は編集部に時に直接御連絡ください。このための国際通信の束費はお申出下さい。

(要 領)

一 つくる本の大きさ --- 日本の「綴方風土記」でいさいで約12冊(書店か図書館で見てください)

二 内容 --- 各国の生活と地理的時ちようを現した児童の生活綴方、児童画、版画、写真等を主とします。児童読物、地理、歴史、教科書などを参考にして解説補足します。

三 巻別 --- (概案) フランス・ベネルクス篇、イギリス北歐篇、ドイツ中欧篇、東欧篇、地中海諸国篇、ソ同盟篇、東アジア篇、南アジア大洋州篇、西アジア・アフリカ篇、北アメリカ篇、南アメリカ篇、日本篇、世界概観篇。

四 刊行の順序は早くできるのから出しますが、大体フランス篇、イギリス篇、東アジア篇、北アメリカ篇、ソ同盟篇などの順です。出しはじめたら二ヶ月に一冊出します。第一冊の資料は今年八月ごろまで、第二冊は十月ごろまでに、第三冊は十二月ごろまでに大体そろえたいのです。

本になるにはそれからほんやく解説編集に数ヶ月がかり、全巻完了にはあと二冊かかる大事業ですから、みなさんの絶大な協力援助をねがいます。できた本各巻にはその作品を書いた子どもや、協力してくださった方々の名前を掲載します。

文通により収集される資料は文通者の所有とし、編集部へ貸与を願ひ、使用後はお返しします。

「世界の子ども」の仕事は心からでるものである。

一つの小石を救われた水
国に立つ波のように広がっ
ていく。子どもたちや、子
どもの仕事を大人たち
の、つながりを求める気持ち
にしっかりと合ったからで
あろう。つながりを求める
気持ち --- それは佳みよく、
争いのない社会を作るため
に、みんなで力を合せたい

子どもの時から国境を越
えて文通し作文をとり交し
てお互の理解を深めること
は、その子どもたちの世代
となつたとき、国際的な協
力の上に何と大きな力を発
揮することであろう。私は
この運動のための小さな石
が、あの大それた戦争を起
し、そして陳腐の悲惨な被

害者でもある日本によつて
救われたことに大きい意
義を感じている。

「世界の子ども」が真に世
界の子どもたちの正しい戒
長に役立つよう、真摯な人
たちによつて指導されるこ
とが心から望まれる。

(羽仁説子)

—Maln

Ten sid
kaj balbu

"Oni di

la pratem

La kialo

mando; n

Jun tag

alian pr

Tiam la

mpigu en

kiel ĉi-

Aŭskul

raste tie

Pli k

voston io

iĝo de n

om multe

el malvar

'Kia ĝ

sian vosti

ĝega. T

ĝuste ĉe

'Ho, m

ploris.

La ra

de simio

Kial Vosto de Simio estas Mallonga?

— Malnova rakonto de Prefektejo Simane —

Noboru Hajakawa

Ten sidigis, iun nokton, mia kara maljunulo apud la forno,
kaj balbutante ekparolis al mi:

"Oni diras, ke vosto de simio estis 66 metrojn longa en
la pratempo. Ja, tiel oni kredas. Ĉu vi pri tio dubas?
La kialo ke la vosto poste mallongigis, estu do via de-
mando, nobĉjo."

Jun tagon simio vizitis urson, kaj konsiligis unu la
alian pri la rimedo por elkapti multe da riverfiŝoj.
Tiam la urso diris al la vizitantaĉo, ke la voston tre-
mpigu en iean profundan abismon en nokto malvarmega
kiel ĉi-nokte, por kokiĝi ĉiajn fiŝojn ĉe tiu pinto.

Aŭskultante la urson, la simio tre ĝojis, kaj senprok-
raste tiel faris, kiel montrita de urso.

Pli kaj pli profundigis la nokto. Tiam ĝi sentis sian
voston iom post iom peza, kaŭze de la progreso de glac-
iĝo de riverakvo. La simio do pensis, ke ĝi ĵus havas ti-
om multe da fiŝoj ĉe la pinto, kiom ĝin liberigas la sukceso
el malvarmego.

'Kia ĝojo!' Ĝi ekkriis. Nu, ĝi komencis suprentiri
sian voston tiel forte, ke ĝia vizaĝo fine fariĝis ru-
ĝega. Tamen, kia efikiĝis? Ĝia vosto ja ekrompiĝis
ĝuste ĉe la radiko.

'Ho, malĝojinde!' La simio rekriis, kaj tuj poste ek-
ploris.

La rakonto nun finiĝas. Tial oni ne dubas la voston
de simio mallonga kaj plie ĝian ruĝan mienon.

— Fino —

Revuo Orienta による北海道エス界

坂 下 清 一

は し が き

忘却とは忘れ去ることださうで、記憶とはうすれゆくものらしい。今の北海道エス会では古い方だともう私も、初めた頃やその以前のことはわからないし、その後のこともおぼろのことが多い。何年か前の全道大会で郷土誌編集のことが可決した時私も相当溜ったR.O誌の中から北海道のことを抜き書いて参考にしやうと考へ、同志にも話したことがあつたが、そのまゝになつてしまつた。今年の大会でHELの委員長の大任を仰せつかつたのを機会にこれをまとめる決心をしました。幸ひHELの蔵書の中に S^{ro} Takase 寄贈のR.Oに私の持っていない創刊号から揃つていたので尚元気づきました。古い人は古い頃の新しい人は新しい人でお互にもつてゐる *fervora, sindonema, arda, entuziasma* で形容できるあの *esperanto* に対する熱意を更に運動に捧げられ、ば幸いです。

1920 Jaro 大正9年

Marto 33 報告 新入会高桑正吾(北海道)高松泰三(札幌区)

★(註)旧ESP協会員外で新しくJ.E.I.に入会した人の名は前号 No.2 から報告されている。

Aprilo 37 Esp-Inter-Fervoistoj-----Sapporo Superint. Depart. Fakopon Meh. Ing. 9

「鉄道販員とエス語」鉄道販員同志就中富田叔子の尽力のお蔭にて日本鉄道Esp会は良好に発達しつつあり、既に三月末日迄に入会を申込みたる者四十一名あり、即ち-----「札幌管理局」工作課9;

43 報告 新入会中野寿(札幌区)浜谷千代吉(沼戸)田中久彦(全)桑山誠一(全)千葉滋(札幌区)

43 消息 学会委員萩原謙造氏は京華商業学校を卒業し小樽高等商業学校へ入学せられた。

Majo 57 報告 新入会 高瀬正栄(札幌)名沢一二(札幌)

60 後誌 小坂委員は五月九日から約二十日間北海道及東北地方を旅行、大いに宣伝につとめる。

Junio 67 小坂委員は約二十日間の北海道旅行を了へて去月二十九日帰京、別項内国通信の如く札幌区及沼戸町で講演をなした、札幌では三田孝士指導の下に講演会が開かれる。

70
Julio 79

69 内報 © Sapporo Vespere la 25-an de majo, en la lekci-sal-
 onego de Ferroja Klubdomo sub la aŭspicioj de
 Meĥanika Fak. Sapporo Departement de Stat fer-
 rojoj oni aranĝis propagandan paroladon de
 S-ro K. Osaka, inĝeniero, kiu alveturis en la
 urbon al Tokio.

Aŭskultis 150 p. Post la parolado, por bonveni-
 gi la parolinton, oni aranĝis vespermangon,
 kiun partoprenis S-ro Tamaĥaŝi, ĵakestro, S-roj
 Sakurai, Sigemi, Tokunaga, ĵoerovaj inĝenieroj
 Sekigaŭa, Furukaŭa, ĥelp-inĝ. kaj S-roj Ĉiba,
 administ. de Elektra Kompanio, Macuo, inĝ. de
 la Kompanio, Mita, Takamacu, kuracisto, Taka-
 se, prezidanto de Knabina Liceo, lokaj memb-
 roj de J.E.I. Oni decidis fondi Esp. grupon kaj
 komenci kurson sub la gvido de S-ro Mita, ag-
 ronomia licenciato.

70° 新入会 広川真田 (北海道)

Julio 79

MIRINDA KLOPODO. Vigla movado en Sapporo.
 En Sapporo, ĉefurbo de Hokkaido-Insulo, lasta-
 tempe subite ekvigliĝis nia movado. Ni vidas
 semoj semitaj de niaj propagandistoj S-roj K.
 Takahaŝi kaj K. Osaka, inĝenieroj, jam komen-
 cis doni radikojn kaj trunketojn: oni baldaŭ
 poros ĝui plenan elplonadon kaj riĉan fruktadon.
 La lokaj samideanoj, unuigitaj okaze de la vizito
 de S-ro Osaka, decidis komenci Esperantajn
 Krusojn, presigis kaj disdonis propagandajn folio-
 jn kaj anoncis pri la kurso tra la urbo, precipe
 ĉe lernejoj, oficejoj, bankoj kaj aliaj institucioj.
 Tio, dank' al bona tedenco de l' tempo, kaŭzis
 intensan atenton de la urbanoj. Enskribiĝis
 al la kurso jam, 86 personoj. Ĉar oni ne povis
 trovi klasĉambron, kiu porus enteni tiom multe

da lernantoj, oni komencis du klasojn samtempe, merkredan kaj vendredan vesperojn, sub la lerta gvido de S-ro Ĉidai Mita, licenciato agronomia. Oni devas danki tian sukceson al la sindonemaj, ardantaj klopodoj de S-roj I. Sekigawa kaj H. Furukawa, helpinĝenieroj de Statfervojoj, kaj aliaj fer-oj samideanoj.

Brilan prosperon al la novaj batalantoj!

80

警 異 嘆

北門文化の中心たる札幌に於けるエス運動は高橋若工学士滞在中の普及に源を發し五月二十六日鉄道俱樂部に於ける札幌鐵道局玉橋工作課長其他鐵道側並に同區會員の催したる小坂技師歡迎会の席上に具体案としてあらはれ、協力普及の勦として講習會開催と決し、先づ普及びらを印刷して各官庁会社学校其他全市に宣伝を行つた。鐵道局関川、古川兩氏の來信に「當講習會は最初の予想は50名位なるべしとの計画にて進行致しており候選締切までには各方面を網羅して186名の多數に達し準備と場所とに狼狽を極めしむ折柄の機会に際し空しく謝絶するも遺憾に被召候故之を火旺日(中學卒以上の語学力あるもの)と金旺日(それ以下)の二組に分ち六月二十九日才一回火旺日の組を南支候選80名出席に及候其中10名の女子も有之乃綠蔭中に紅一点を呈し候。会場は目下當區幼稚園を一夜三円にて借用致候も電灯は札幌水力電氣会社の寄贈によるなど其他幹部の献身的活動の有終美を期し居り候。嘗て播かれし數粒のエスペラントの種子は大正九年に再生の恵に浴じやがて百倍の實を結ぶべく遙に勸告を賜り度奉願候」講師は三田智大氏で、普及のチランは區の有志大門氏の寄贈による。同地の幹部諸君の此の活動振りは今夏普及界の一股の清涼劑ではあるまいか。遙に諸君の健斗を祈る。

81 報告 新入会 佐々木盛太郎(苗穂) ★ 現学会の三宅史平氏もこの欄に載つてゐる。

Aug

88 " ◎ Sapporo. La kursoj tre bone progresas sub la lerta gvido de S-ro Ĉ. Mita, licenciato agronomia. Oni baldaŭ komencos novan kurson, kiu gvidos S-ro Takase, direktoro de Virina Gimnazio.

◎ Otaru. En Aŭtuno oni komencos riglan movadon sub la pionirado de S-ro Hagihara, lerta esperantist-knabo, kaj S-ro S. Takakuwa, fervora propagandisto, ĵus transloĝiginta tien el Rumoe.

Sept 108 報告 新入会 佐藤眠羊(北海道) 梶田光治、山辺三也、五十嵐孝治、重田勇助、小山

準平、佐藤順一郎、藤原敬三、長谷義太郎、栗原健、関川石太郎、古川元（札幌）
Dec 14/ 報告 新入会 兴村稔吉（札幌）

1921（大正10）

Jan. 12 懸賞課題披露、和文エス訳に札幌三田智大氏の訳文掲載 ★ 尚五名の受賞者は萩原謙三（小樽）進藤静太郎、村上知行、碓崎巖氏である。

12 報告 新入会 徳永晋作、渡辺信、三崎明磨（札幌）

Feb. 24 " " 湊美穂雄（札幌）

Aprilo 42 小樽 萩原謙三氏「エスペラントの善用」——高橋先生の「エスペラントの悪用」に就て公開状

44 報告 新入会 黒沢道雄（札幌）

Majo 55 " " 岸浩三（小樽）

Julio 79 " ◎ Sapporo Ĉiunarde okazas studa kunveno sub la gvido S-ro Takase; partoprenas 9-13 personoj. En Naebo Fabrikejo de Statfervojoj funkcias Ĉiunarde Esp. kurso, en kiu la direktoro ing. Tŭamoto, ing. Tokunaga kaj aliaj dek kelke da anoj lernas Esp. sub S-ro Takase.

80 " 新入会 山内廉夫（札幌） 安藤勇兵（札幌）

81 研究 エス文和訳（小樽 萩原謙三）受賞 ★ 高瀬、高桑も佳作。

Aug. ★この号は特別号で会員名簿になっている。新入会で載った人以外に古い人が加藤直正（工学士）夕張、佐藤眠洋、俱知安（小樽新聞支局） 玄川真田、琴似、黒沢道雄、白石。

札幌 高瀬正栄、小田切儀子、藤原敬三、長谷義太郎、関川石太郎、菊本新三郎、栗原健、堀田光治、安藤勇平、松尾豊治、中野寿、佐藤順一郎、山田廉夫、千葉滋、温井亮吉（工学士——電気会社） 阿崎俊雄（牧師）名沢一二、兴村稔吉（北大）、目黒義雄（北大）、湊美穂雄（北大）、三崎明磨（鉄道）、徳永晋作（工学士鉄道技師）古川元（鉄道）渡辺信（鉄道）

函館 虎渡乙松、三田智大（亀田村函館師範学校）

小樽 萩原謙三（高商 正気寮）、平岡文三（全北斗寮）、高桑正吾、岸浩三、室蘭 水科吉郎

会員増減表 1916 1919 1921

北海道 3 10 37

1921以外は日本エスペラント協会々員、1909は五月十五日現在、1919は

8月末、1921は8月10日

(参考)

東京	79	170	323
大阪	9	33	55
神奈川	14	88	49
京都	6	14	48
計	189	464	720

Nov. 138

転去 札幌より東京へ佐藤順一郎 小樽より函館へ高桑正吾

有馬章 台北より十勝清水へ 葛西勝弥 東京より札幌へ(北大農学部)

Lokaj Grupoj

札幌 Esp 研究会 小樽 Esp 会 函館 Esp 会

Dec. 144 報告

新入会 冢柳辰次郎(函館) 額額史郎(札幌)

転去 熊谷勇吉(福山)青森より、梅津静一(小樽)新潟より。

★この頃の会費は普通年2円 賛助5円 維持会員10円以上です。

1922 (大正11)

Jan. 10 報道

新入会 花田録郎(札幌(北大))

南 雄三、阿部外龜雄、平天 清、京田貞一郎、小野芳太郎、牧野助江、松井敏郎、前田吉太郎、綾 静一、伊藤高敏、森 熊一、鈴木和喜郎(函館鉄道局)

退会 梅津静一(小樽)

Lokaj Grupoj

札幌 Esp 研究会 (札幌区 南大通西十五丁目角高瀬正栄)

小樽 Esp 会 (小樽区 小樽高等商業学校二寄宿舍 萩原謙造)

函館 Esp 会 (函館区 千代ヶ丘 高桑正吾)

Apr. 61 報道

◎ Hakodate — La loka grupo arangis respere la 25 an de marto en la domo de Sro O. Tomiutari la adiaŭan kunsidon por prof. N. Mita, kiu iras al Tokaĉi Agromonia kaj Arbarscienca Lernejo.

Junio 95 報道

◎ Otaru — Longa vintro nin esperantistojn de la nordo dormigis. Sed jam majo forrabis neĝon for de nupri (monto) kaj ĝin anstataŭis per floroj. En aprilo ni jam faris propagandan paroladon kaj de tiam funkcias unu kruzo

en lernejo (Otaru Komerca Kolegio), kiun ĉe-
estas 23 studentoj kaj 1 profesoro. Ĝin gvidas
mi. Oni ankaŭ intencas ludi dramon Esper-
antan inter alilingvoj ĉe la fremdlingvaj
kunveno de la kolegio; tio certe estos bonega
propagando. (Raporto de sro K. Hagihara)

★ 学会岡本特使が日本大会に未道した節、小樽の座談会で坂下が高商で外語
劇でエス語のもあつたと語つたのはこの頃のを見たのである。

Julio 110

① Hakodate. — La lokaj 5anoj nun havas cion
lundon vespere, je 19 h 30, kutiman konsidon
en la domo de S-ro Toraiutari (Laŭ raporto de
S-ro Takakura)

年 鑑 名 義

有馬 章 (十勝清水) 三田智大 (帯広町十勝農業学校)

広川眞田 (琴似) 黒沢道雄 (白石) 福田義雄 (奈井江) 功力六郎 (山部
北大演習林) ? 谷友次郎 (岩内) 熊谷勇吉 (稚山町訓導) 加藤直正 (夕張) 増井 陸 (紋別)

函館区 高桑正吾 (新聞記者) 虎渡乙松 (眼科医) 家柳辰次郎、小山きく、
長谷川武雄 (生徒) 沢出茂雄 (会社員) 堀込俊雄 (店員) 森谷正夫 (郵
便局長) 斎藤与一郎 (教育会長) 小橋正三、桐野与太郎 (郵便局員) 加
川退藏 (会社員) 南雄三 阿部外雄雄、小野芳太郎、松井敏郎 前田 太郎
平沢 清 荻野助仁 京田貞一郎 (以上函館運輸事務所) 伊藤高敏 (札幌函館工
場)

小樽区 萩原謙造 (高商生) 平岡文三 (高商生) 岸浩三 (技师) 清水昌三
(学生) 櫻井甚吉 鎌田 一

室蘭区 岡崎俊雄 水科芳郎、福士徳之進

札幌区 高瀬正栄、小田切儀子、小林鉄四郎、額額史郎 (官吏) 菊本新三郎、
長沢儀太郎、藤原敬三、宮地良治 (医師) 栗原健、梶田光治、松尾豊治、中村
弘、渥美樟雄、花田録郎、山田康夫 (官吏) 温井亮吉、千葉滋、名沢一、葛
西勝弥、目黒義雄、与村禎吉、日高不二雄、渡辺信 (鉄道) 徳永晋作、三崎明
磨、古川元、関川石太郎、柴崎寿松

会 員 府 県 別

	(1909)	(1916)	(1919)	(1921)	(1922)
東京	73	76	170	323	527
京都	10	6	14	48	98
大阪	14	9	33	55	87
神奈川	16	14	88	49	78
愛知	5	3	4	5	75
北海道	5	3	10	35	68
福岡	6	5	8	14	43
宮城	3	2	2	7	40
	251	189	464	720	1473

- ★ 近藤養義氏 後年の小樽工学会長は秋田市(教師)
 田上政敏氏 後年札幌北大工学会長は仙台市(帝大地理学教室)
 堀 真道氏 東京(帝大生)
 内田 亨氏 現北大(理)教授 東京帝大理学部動物学教室
 小串孝治氏 現北大(工)教授 福岡市外(講師) が見える

1923 大正12年

Marzo 57 質疑応答欄に「札幌工学会」より二、三質問が出ている

Junio 104 学会は委員豊川啓暉、岡本好次氏、会員中村喜久雄、佐々木孝丸、石黒修治氏よりなる宣伝隊を仙台、盛岡、青森、函館、川根、札幌、旭川、室蘭、秋田、米沢、山形の各地に巡回せしめて宣伝講演を行った。到る処大成功との報が来る。来月号には詳細の報道をします。

Julio 138 小樽Esp会(小樽高等商業学校内 岩重 祐)代表者変更している

(以下 次号)

編集引継がせのことば

山 樽 山本昭二郎

レオントードはオノ号をのぞえ、以後はH.E.L.がすべてをやってくれることになった。

従来はほとんど一人の編集であつたため、一人の視野は複数のそれより限られており、又、時間的、能率的に自信がもてなくなつて、かねてより適当な人に編集を依頼したいものと考えていた。

オノ号以後はH.E.L.の機関誌であり、H.E.L.の役員の方達が4人、5人編集をやり、今後は私は一切責任をとられるわけであるが、ほつとしている反面、内心はなかなかさびしい。私はこれにいろいろの夢をえがいていた。エスペラントの雑誌を作ろうと決心した当時はヤスリや原紙に触れたことすらない私であつた。ガリ版屋に出かけて、ヤスリの種類を教えてもらい、いろいろな本も読み、とりわけ鉛刷印刷に心をひかれ、美しい表紙にしたら、参加してくれる人は喜んでくれるだろうと思つた。それから四年、ともかく続いている。私にはここまで来るにはずいぶんつらくて、毎号々々出すごとに1週間位はぼろぼろとして何も出来ないのだつた。この春失業するまで私は荷役入疋をやつており、疲れて帰つて、原紙を切つたり、刷つたり、製本したり、全く夢中でやつた。レオントード以前はエスペラントの翻訳などやりーんて合点して面白がつていたが、レオントードをはじめてからエスペラントの勉強は天才におろそかになり、印刷美の向上にはばかり熱中してしまつた。これは本末転倒であると思ひ、同志にと指摘され、そのころから、せめて編集と会費集めだけでも誰かにやつてもらいたいものと思つた。面倒とか、いや、というのが理由ではなくて、さきに書いた如く一人の視野はせまい、ということ、この若い充実さるべき時代に深山勉強しておきたいため身軽になりたいこと、などが私の編集辞退の理由である。

私はエスペラントをやっている限りレオントードは続けるつもりだ、とはいふものの、これからはH.E.L.がやるので、H.E.L.次でレオントードも枯れるかも知れない。もちろんそれは私の本意ではないので、万一その如きことになるものなら、私は又あわてて編集を引き受け、続けるかも知れない。そしてへとへとになり、小遣をその都度ばたき、自分の時間を使い果たし、一体何を解ているのかさくばくとした気持ちになるかもしれない。

たしかに私にはお人好しの反面があり、家族や友人達からしょうがなかられることも多い。レオントードは獲得でやつてきたのではないけれど、これが趣味とみられたり、もうけ仕事でやっていると煙われたりするのはいづれ私にはうれしくないことだ。だが今後はその如きことはあるまい。

H.E.L.の新らしい機関誌の編集員、坂下、アリマ、相沢、早坂、児玉の諸氏の力量と熱意に私は信頼している。

(1954. 11. 25)

連盟の機関誌と入会

についてお願い

HEL書記長 相 沢 治 雄

昨年の9月23日札幌市で開催されたオノエ全道エス大会の夜試会に於きまして、小樽エス協会発行のLEONTODOを北海道エスペラント連盟の正式な機関誌とする事を決定確認致しました。LEONTODOについては皆称紙に欄存知の通り1952年小樽エス協会の機関誌として発行され、その内容と印刷技術の優秀さによつて全国的に知られ、又、一昨年度の岡山に於けるオノエ40回日本エスペラント大会に於けるGazeto-Konkursでは最高のPremioを与えられました。現在の日本に於ける最高のEsperanto地方誌であります。

現在の北海道で最も力強い基礎に立つて活動を展開している小樽エス協会なればこそこのLEONTODOの発行を継続することが出来たのでありまして、同夜会の皆称方の御努力に最大の敬意を表します。又、一昨年度大会に於きましてこの由緒あるLEONTODOを全道エスペランティストのために開放され、更に昨年度大会に於ては、HELの機関誌とする事につきまして、小樽エス協会の皆称方から提案され、満場一致で決定されました事は、全道のエスペランティストに於て大きな幸福であります。

従つて今まで小樽エス協会にのみ負担を願つておりました機関誌発行に伴う事務的な用件は主として、連盟事務局で取扱う事となりました。ここにLEONTODO No. 11をお送りするに当りまして、全道のエスペランティストの皆称方、今までにもましてLEONTODOを更に美しく力強くそだてて下さる様お願い致します。なおこのLEONTODOがお気に召したらぜひ連盟に入会下さつてご支援のほど心からお願いいたします。

1. LEONTODOの発行月と発行回数

1月、4月、7月、10月の年4回。

2. 会費 年200円（なるべく1年分納入下さい）

3. 1つのエス会に属している方々は10名以上まとめてフリカエ口座川樽5040番北海道エス連盟へ。

また個人の方は現金を普通の手紙に同封して送金下さい。

4. 送金先 札幌市北1東9 坂下清一

北海道エスペラント連盟会員名簿

(1955. 1. 31 現在)

高橋 要一	札幌市大通東8ー1
アリマヨシハル	〃 北24 西9
坂下 清一	〃 北1 東9
相沢 治雄	札幌市堀水東町7丁目
新井 静太郎	札幌市苗穂町42 日下部金吉方
山路 彪峰	〃 北17 東4
板内 和男	〃 北13 西3
仁保 武親	函館市宮前町19 細田方
児玉 広夫	札幌郡豊平町字美園1区 道方オ15 寮内
高木 敏子	札幌市南1 西14
竹吉 正広	旭川市9条9丁目右1号
岡本 義雄	空知郡三笠町幾春別小学校
木村 喜王治	札幌市伏見町337
大木 克己	札幌市北1 西28 片岡春樹方

以上1955年1月末日現在の申込みを集めたものです。全道各地のEsperantistoの入会をお待ちします。

(入会希望者はまずハガキでお知らせ下さい)

地方会々員住所変更

(所属エス会) (氏 名) (新 住 所)

小 樽 高 橋 達 治 小樽市桜町 307

" 高 橋 やす子 全 上

" 山 本 昭 二 郎 小樽市清水町 34

" 山 本 馨 子 全 上

(以上 LEONTODO N-ro 9 発表の小樽エス会名義参照)

札 幌 相 沢 治 雄 札幌市菊水東町 7 丁目

" 大 木 克 己 札幌市北 / 西 28 片岡春樹方

" 川 村 末 男 札幌市外コトニ町 24 軒 石川房雄方

" 桐 生 育 保 札幌市北 / 西 14

" 児 玉 広 夫 札幌市豊平町字美園 / 区 道行才 / 5 寮内

(以上 LEONTODO N-ro 10 発表の札幌エス会名義参照)

由 仁 田 辺 至 深川町栗町 東高等学校寮内

" (旧) 平 塚 恭 子 札幌市南 / 篠曲 2 / 丁目 印部恭子

" 白 井 和 子 不 明 (結婚による転出)

" 田 中 郁 男 東京都 (勉学のため ")

" 桑 島 正 男 札幌市 (" ")

(以上 LEONTODO N-ro 9 発表の由仁エス会名義参照)

札幌エス会新会員紹介

柄 内 和 男 (40) 札幌市北 / 3 西 3 苗穂小学校

Ni volas korespondi

S-ro William Philip Simpson (43 jara),
3763 Brisban street, Harrisburg, Pa.

Usono

S-roj Gerard Mauer (13 jara).

Lang Marcel (13 jara).

Gilbert Becker (15 jara).

Aubertin Robert (12 jara).

Alfred Oger (12 jara)

24 avenue de plantier, Metz Francujo

F-ino Rhydderch.

6 Corporation Ave,

Fishpond, Bristol, Anglujo.

F-ino Elizabeth Anotelan,

NOVI SAD. Pionirska ul 4. Jugoslavujo.

S-ro Vincente Gomez Lopez

Jose Cubas 4598 Buens Aires Argentina

(volas interŝanĝi ilustritajn aŭ koloritajn
P.K. ankaŭ P.M.)

S-ro Papelaria Nunes

Pua da Quitanda, 61 Rio de Janeiro,

Brazilo

(volas korespondi pri sportaj aferoj)

F-ino 神谷悦子

東京都文京区大塚辻町 大塚病院内 土舎

(Si kuŝas sun malsanlito en hospitalo kaj
deziras korespondi kun samideanoj en
Hokkaido)

あ と が き

HELの機関紙としてのLEONTODOを一月中旬に発行の
予定でしたがお手許にお届け出さる様になりました。
HELの振替口座(小樽5240)を開くこと、原稿をお願いす
ること、集まった原稿を編集することなどで10月/4日か
ら11月26日迄に5回坂下宅で会合をもちました。アリマ、
相沢、早坂、児玉、松内、高橋の諸君が熱心に協力して下さい
ました。このLEONTODOの原動力である山本君の今迄の
苦勞が本当に思ひやられました。御多忙をさいて印刷する
山本君、製本に協力の早坂君に感謝致します。いろいろ御気付
の点がありましたら何卒HELへお知らせ下さい。皆さんの
機関紙として一層良いものに致しませう。尚会費は機関紙
発行の重大推進力の一つですから未納の方はお早く御送金
お願いします。

2/18 坂下 記

Vendas al vi

ESPERANTO

P O R

I N F A N O J

トーシヤ刷 羊 40

〒 8

初等講習のテキストに、講習を終えた人々の読本に最適です。

原 稿 募 集

★ LEONTODO N-ro 12 の原稿を募集します。

★ 枚数、内容 随意 (日本文の時は原稿用紙を使用して下さい)

★ 原稿締切 3月31日

★ 原稿送付先 北海道ESP.連盟

若しくは, al s-ro ARIMA,

s-ro AIZAWA

(おわび) この N-ro 11 の原稿は比較的早く入手したのですが、発行予定を / 月中旬としてあったのに実に / ヶ月以上も遅延してしまった。いかに本業が時期的に多忙とはいえ、印刷者の怠慢により期日を厳守出来なかったのは真に申し訳なく思います。(㊄)

LEONTODO N-ro 11

LA ORGANA GAZETODE H. E. L

発行日 1955年2月20日

編集 北海道エスペラント連盟

発行 札幌市北1条東9丁目坂下方(Tel.)

振 替 小樽 5240 番

印刷 山本昭二郎

小樽市清水町34番地

会 費 年 額 200 円

— お ね が い —

- 昨年の第18回北海道エスペラント大会で、LEONTODOが北海道エスペラント連盟の機関誌と定められ、連盟が北海道のEsperanto界の総元締として活動することになりました。
- この際、全道のGeesperantistojは残らず連盟の会員になっていただきたいと思つてここにLEONTODO No. 11をお届けします。
- 連盟の会費は1年200円です。その内訳は
 $Leontodo (1冊 35円) + (送料 8円) = 43円$
年4回発行で $43円 \times 4 = 172円$
残金28円は1年分の連絡通信費
- 会費は出来るだけ1年分まとめて現金で普通便としてお送り下さる方が安くて便利です。特別に現金送金の扱いにする必要はありません。

札幌市北1条東9丁目 坂下清一方

北海道エスペラント連盟

振替 小樽 5240 番